

## 今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2019年12月27日]

### 11月の農業情報

**タイトル** 渥美半島の食文化の伝承に技人が活躍

**とき** 令和元年10月2日(金)、11月13日(水)

**ところ** 愛知県立福江高等学校(10/2)、愛知県立成章高等学校(11/13)

**主体・対象** 輝きネット・あいちの技人 4名

#### 内容

輝きネット・あいちの技人4名が、田原市内の高等学校が主催する郷土料理講習会の講師を務めた。愛知県立福江高等学校普通科福祉実践コースの3年生17名及び成章高等学校生活文化科の3年生28名が、郷土食・伝統食などのいわれや調理方法を学んだ。

講習会は渥美半島で古くから食されてきた「じょじょ切り」や「八杯汁」のほか、地域の特産物であるキャベツを使った「キャベコロ」などのメニューを、輝きネット・あいちの技人(以下「技人」という)が手本を示しながら、調理のポイントをわかりやすく高校生に伝えた。

農村輝きネット・あつみには現在16名の技人が所属しており、各人が伝統食・行事食の技術、農畜産物の加工技術、手工芸(かご作り等)の技術などの伝承活動を行っている。昨年度は年間33回の活動があった。

技人の活動により渥美半島の食文化が後世に引き継がれるよう、農業改良普及課は技人の活躍の場の広がり支援する。



技人(中央)の指先に注目する高校生